

社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ゆとりあ」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町7-1 東地区総合庁舎2F

TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail : yutoria@sweet.ocn.ne.jp

URL: <http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/>

ゆとりあ



★★★ ゆとりあ の お知らせ ★★★

9/27(水)は法人会議のため、閉館時間が早まります。【17:30閉館】

暑気払い開催しました

今年もカラオケ「まねきねこ」にて暑気払いを行いました。参加人数は総勢14名！
食べながら、飲みながら、歌声の絶えない時間となりました。

開催を祝して！



デュエットならぬトリオで！



「沢山デュエットしたね！」「大人数だと楽しい！」「盛り上がったね！」などなど…楽しい会となりました♪

夏まつりにて

8月26日(土)に新潟しなの福祉会夏まつりが行われました。ゆとりあでは「ポップコーンの販売」「お菓子すくい」「焼き鳥」を出店しました。

子どもに人気でした！



毎年恒例の焼き鳥★



ご来場いただいた皆様、ありがとうございました！

★主のコラム 実る程頭を垂れる稲穂かな

★

秋めいて、越後平野は稲穂で黄金色に染まりはじめた。美味しいお米になって欲しいものだ。全国的には、ゲリラ豪雨にみまわれ、日照時間が8月としては最低を記録した地域も多かった。日照時間に影響を受ける稲の作柄も心配されているが、それでも新潟は日照時間も比較的多かったのか、稲の作柄も順調とのことだ。

先日、新潟しなの福祉会恒例の夏まつりが開催され、沢山のお客さんと触れあうことが出来た。地域の皆さんや多くのメンバーに集っていただき、感謝と感激の一日だった。そうそう、店主、今年もきりんくん(焼き鳥を焼いている機械)相手に火起こしで悪戦苦闘していた。懐かしいメンバーとの対面に焼き鳥を焼く手がおろそかになり、火が消えかけた。慌てた店主は団扇であおいでは、煙に燻され涙を浮かべる始末だった。ただ、懐かしい人との再会で涙腺も心なしが溢れていたように見えた。

沢山のお客さんに気を大きくした店主、来年はもっとにぎやかにすると嘯びいていた。そんな店主に「稲穂は実る程に頭を垂れる」と例えると、はい、分かっています。「頭が重いと大変ですよなって」謙虚とはほんとと遠いらしい。



新潟しなの福社会 夏祭り

8月26日に新潟しなの福社会の夏祭りを開催しました。天気が心配される中、開会時間が近づくにつれみんなの願いが届いたかのようにお日様が顔をだしてくれました。

当日は暑い中、大勢の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。

今年も地域の皆様、関係者の皆様に多大なるご支援とご協力をいただき、無事に賑やかなお祭りとなりましたことを、新潟しなの福社会一同こころより感謝いたします。

今後とも、新潟しなの福社会をよろしくお願いいたします。



イベント出演者様



夏祭り開催します！

理事長あいさつ



あだち会 様



Duffy 様



関屋六階節保存会 様



皆さん、ありがとうございました！

後援会関川会長あいさつ



ご協力ありがとうございました！
びびいまだ！

- ・梨の里
- ・いしすえ
- ・クローバーひしもの家
- ・ぱんやHUG
- ・ワークショップロード
- ・新潟しなの福社会後援会

参加団体 (敬称略)

- ・新潟青陵大学の皆様
- ・新潟医療福祉大学の皆様
- ・新潟医療福祉大学レジジの皆様

ボランティアご協力

- ・長谷川まゆみ様
- ・その他、あどばんす、スペースひなた、ゆとりあにも沢山のご寄付を頂きました。ありがとうございました。

- ・渡辺裕子様
- ・内藤香代子様
- ・金子芳三郎様
- ・古山由香里様
- ・渋谷タツミ様
- ・江坂卓様
- ・小林裕之様
- ・大山雅子様
- ・石川瞳様
- ・架谷和夫様
- ・佐藤和子様
- ・加藤様
- ・奥田裕美様
- ・上杉道子様
- ・東樹浩子様
- ・宮川文季様

バザー物品のご寄付 (順不同)

夏まつり

8月26日新潟しなの福社会では恒例の夏祭りを開催しました。ゆとりあの出店は、焼き鳥、ポップコーン、お菓子釣りでした。来ていただいた皆様、手伝って下さったメンバーさん、学生さん、本当にありがとうございました。

さて、祭りの中で、グループの芸能発表がありました。ゆとりあの出店の前では、Duffyという小中学生の女の子グループが、ダンスを披露してくれました。とってもかわいくてカッコよく、中学生ガールズはアップテンポな曲に合わせ激しく踊ったりして、今時は違うと感心して見ていました。ふと、私自身の中学生時代を思い出、「当時はダンスといえば、フォークダンスだったなあ。そういえば、憧れの先輩と手をつなげる♡と順番が回ってくるのをドキドキしながら踊っていたら、あと一步のところで曲が終わってガッカリしたりして..」などとノスタルジックにひたっていました。Duffyのボーカロイドの曲が流れる中、私の頭の中だけは「オクラホマミキサー」が繰り返されるのでした。

祭りの終わりは、夏の終わり。後片付けをしながら、秋の気配を感じていました。